



入船だより

横浜市立入船小学校
校長 中村 公俊
学校だより 5月号
令和5年4月28日発行

あいさつ 返事は 心を込めて 元気よく!!

学校長 中村 公俊

あいさつすることにより、お互い気持ちがよく、心がぼかぼかになります。また、あいさつから友達関係が広がったり知り合いが増えたりします。コロナ禍ではありますが、マスクの下から元気のよいあいさつが聞こえてくると、とてもうれしいです。

昨年度の5月号で「あいさつ運動」のよさについて述べさせていただきました。

「おはようございます!」と、今年度も、子どもたちの元気なあいさつが返ってきます。入船小の子どもたちは、朝のあいさつが得意です。元気よくあいさつする子、ていねいにお辞儀をしながらあいさつする子、にっこり笑顔を返してくれる子、あいさつの種類は様々ですが、どの子もきちんとあいさつができます。こちらの心まで気持ちがよくなります。さらに、子どもたちはボランティアで旗振りをしてくれている「見守り隊」の方へのあいさつも欠かしません。たいへん立派だと思えます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度はマスクをつけてのあいさつや授業でしたが、その制限が解除され、各自(各家庭)の判断に委ねられるようになりました。子どもたちも、ちらほらとマスクを外して生活する様子が見られ始め、マスクのあるなしに関係なく、あいさつ、返事をするのが可能となりました。

そこで、今年度は「あいさつ」に加えて、「返事」も元気よく行えるように、目標を

「あいさつ 返事は 心を込めて 元気よく!!」

としたいと思います。

「あいさつ」や「返事」を心を込めて元気よく行うことで、学校中に子どもたちの元気な声が響き、心も体も元気になってほしいと思います。さらに、「あいさつ」や「返事」が学校教育

目標にある「ここに根つき」と同じように、根づいていってほしいと願っています。

